

オーディオ実験室収載

モーツアルト盤を聴く(66)(HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(66)—

1. 始めに

前報(65)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

前報(9)から、アース関係が仮想アース Crystal E の導入(7)で報告のとおり、仮想アース Crystal E の追加とアース専用ケーブル Clone 2 が加わっていますが、LINN LP-124 のシステムに関係するのは、ZANDEN Model120 のアースケーブルが Western の撚り線から Clone 2 に代わっていることです。

加えて、仮想アース Crystal E の導入(15)で報告しましたように、スピーカーケーブルの結線に自作の仮想アースを接続しています。

音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回もヴァイオリンソナタです。

PHILIPS 6780 017

モーツアルト	ピアノとヴァイオリンのためのソナタ	B-dur
	ピアノとヴァイオリンのためのソナタ	e-moll
	ピアノとヴァイオリンのためのソナタ	F-dur
	ピアノとヴァイオリンのためのソナタ	C-dur

アルトゥール・グルミヨー (ヴァイオリン)

クララ・ハスキル (ピアノ)

2. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

PHILIPS 盤ということで、RIAA、正相、第4時定数 High で聴いていきます。

グルミヨーのヴァイオリンは、穏やかで艶っぽく、歌い上げていきます。

ハスキルのピアノもこれに対応して優雅に呼応し、グルミヨーとのコンビで、モーツアルトのピアノとヴァイオリンのためのソナタの典型とも言える演奏です。

3. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレーク、Crystal E の導入などの総合的

な効果として、グルミヨーとハスキルのコンビによるピアノとヴァイオリンのためのソナタの演奏スタイルが十分に把握できました。

以上